



運営協議会だより

第6号

代表 西澤 輝信 校長 百合野 壽郎

第6回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

■日時 令和6年11月12日 15:00~16:15

■場所 落合第六小学校 図書室

■司会 校長

【代表挨拶】

挨拶運動について朝校門で立つことが難しいので、出勤時、自転車で移動中にすれ違う落六小の児童に挨拶するようにしてみたところ、はじめは驚いていたが挨拶を返してくれるようになりました。他のPTAでの取り組み事例で、挨拶運動の時に「ゲータッチ」する学校が紹介されていました。地域の方とのふれあいにも繋がり、子どもたちに地域の方は信頼できるという意識づけにもなるのかと思うと、良い方法だと感じました。

【校長挨拶・学校の取組について】

4年生の授業で企業に協力いただき、半導体の勉強をした記事が朝日小学生新聞に掲載されました。最近、怪我をする児童が多く、年末に向けて廊下を走るなどの危険な行為をしないよう指導します。11月15日には全校遠足が予定されています。また11月16日には避難所開設訓練が予定されており、いざという時に備えて教員も数名参加予定です。

【児童からの発表】 伊那移動教室 報告会のプレゼン (代表2グループ)

9月25~27日、6年生が伊那移動教室を実施し、14班に分かれ民泊しながら自然体験・農業体験しました。

・民泊「河原小路」男子4名のグループ、

薪割りやトラクター運転など、東京ではできない体験をした。美味しいアップルパイも作り、イナゴも食べた。仲間と協力すること、友情の大切さ、人の温かみ、自然の豊かさなど、多くのことを学んだ。

・民泊「縁がわ」女子3名のグループ

栗拾いや野菜の収穫、種まきなど農業体験をした。イナゴを食べる機会があり、初めてのことにチャレンジする大切さを学んだ。また毎食の食事の用意をすることで、料理の大変さを知ることができた。これから少しずつ家でも練習したいと感じた。ご飯を炊き忘れた失敗談も、クイズ形式に発表し工夫していた。

【意見交換】

- ・子どもたちの発表が素晴らしかった。実際の活動の様子が分かりやすかった。
- ・11月10日に地域センターまつりが開催され、約800人の来場者があった。高学年の子どもたちの参加が以前より少なく感じた。来年度入園の、区立幼稚園の園児募集を呼びかけていた。
- ・習い事に通う子どもたちも多く、地域のイベントに参加する子どもが減り残念だ。
- ・家庭というものが変化し、寂しく感じることもある。帰宅後に自分でご飯を食べる子どもがいる時代になった。
- ・共働きと子育て支援の施策が、国でも追い付かない状況だと感じる。何か良い方法があれば。
- ・保護者の考えも多様化し、学校側への要望も変化している。おちろくカタルシカでも学校の様子を伝えたい。
- ・挨拶運動を校門で月1回実施してみたところ、登校時の子どもたちの多くは挨拶していた。
- ・「おはよう」「ありがとう」は、子ども存在を認める人権の言葉だと、先日参加した講演会で聞いた。
- ・「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」の3つの言葉はとても大切に、入学式では必ず話している。

【次回の予定】 令和6年12月10日(火) 17:00~

【出席者】

西澤 輝信、橋田 稔、舘 次郎、亀井 治子、鯉沼 美香子、
片岡 丈人(落合第二特別出張所長)、森 修二(教育支援課)、
百合野 壽郎、水上 真理(書記兼務)、